

## 2018年度 第10回例会（トリトン講義） 「保険数理と統計的方法とその心」

公式CPD：1.5単位  
<その他>

清水泰隆先生(早稲田大学理工学術院 教授)による著書「保険数理と統計的方法」について、著者自ら、大会議室(定員100名)にてご講義いただきます。

- ◆日時 : 2019年2月27日(水) 18:00 ~ 19:30
- ◆会場 : 日本アクチュアリー会事務局 大会議室 (晴海トリトンスクエア)
- ◆定員 : 100名
- ◆講師 : 清水 泰隆 先生 (早稲田大学理工学術院 教授)
- ◆参加申込 : 2月22日(金)までに当会Webサイトの会員サイトにログインし、会員ごとにお申し込みください。
  - 画面中央の「申し込み・アンケートのお知らせ」タブをクリック
  - 「2018年度第10回例会(トリトン講義)参加申し込み」をクリック
  - 所属先や連絡先に必要事項を設問に沿って入力
  - 設問画面最下部の「回答」ボタンをクリックして完了

**定員を超えるお申込があった場合に、参加者の抽選を行う・事前連絡なしに締切日を早める等の必要な対応を行う場合がございますので、予めご了承下さい。**

参加を強く希望される方は、お早めにお申し込みをお願いいたします。
- ◆講義資料 : 当会Webサイトの会員サイトからダウンロードしてご持参ください(2月20日(水)頃掲載予定)。  
当日の資料配布はございません。
- ◆その他 : 公式CPDの対象となります。正会員の方は出席確認のため、CPDカードを忘れずにご持参ください。

### 講師プロフィール

清水 泰隆 先生 (早稲田大学理工学術院 教授)



1976年 福井県生まれ  
1999年 東京大学理学部数学科卒  
同年 第一生命入社(半年後、退社)  
2001年 東京大学大学院数理科学研究科  
2005年 大阪大学大学院基礎工学研究科 助手  
2011年 同研究科 准教授  
2017年 早稲田大学理工学術院 教授  
博士(数理学)、SSI 国際唎酒師、  
東日本学生相撲連盟理事、福井ブランド大使

### 講義概要 ~講師からのメッセージ~

アクチュアリー学には実践的な確率・統計の知識が必要である。しかしながら、その理論的な側面は、案外重視されていないように思える。この度出版した拙著「保険数理と統計的方法」は主に破産理論を扱ったもので、実践的なアクチュアリー数理とはかけ離れていると思われるかもしれない。しかし、実はそれは確率過程に基づくリスク評価の元祖であり、確率・統計の重要な理論的側面をふんだんに含んでいる。いわば、市場整合的リスク評価などの数学的技法の基礎を与えるものと言え、CERA や次世代のアクチュアリーにとって欠くべからざる知識の宝庫と言えるであろう。本講義では、あえて1章の確率論の基礎から復習することにより、もしかしたら忘れていたかも知れない確率・統計理論のきわどさも再認識しつつ、確率過程によるリスク評価の可能性を探ってみたい。

### 会場のご案内



日本アクチュアリー会 事務局 大会議室  
東京都中央区晴海1-8-10  
晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーX 2階  
(都営大江戸線 勝どき駅A2a/b出口より徒歩8分)

お問い合わせ:

日本アクチュアリー会 事務局 荒岡・山川  
TEL: 03-5548-6033  
Email: araoka@actuaries.jp  
yamakawa@actuaries.jp